



春を愛でる！ 満開の桜

楽しい一日 お花見会

恒例のお花見会は4月1日、狭山公園の外にて、会員28名家族6名に国分寺稲門会の4名を加えて総勢38名、絶好の花見日和に恵まれ盛大に行われました。
歓談の輪が広がる中、市川彰彦さんのオカリナ演奏や東村山稲門会の歌の合唱そして校歌と、4時間があっという間でした。

多くの方々から飲物やつまみ等の差し入れを、又都合で欠席された井垣さんからは、心付けをいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

参加者38名



市川彰彦さんのオカリナ演奏



乾杯！.... 差し入れもたくさん



當摩照夫さん

朝5時からの場所取りでした



都の西北・・・東村山稲門会の歌も披露

(まとめ：當間昭治 写真：赤荻洋一)



○ 5 月 度 定 例 役 員 会

日 時 5 月 1 2 日 (土) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
場 所 ふるさと歴史館 研修室
役員会の前にニュース封入作業があります。(13時にお集まりください)
会員の皆さんはどなたでも出席できます。是非お出でください。

○ 第 5 1 回 雑 学 講 座

日 時 5 月 1 2 日 (土) 1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
場 所 ふるさと歴史館 研修室
講 師 慶応義塾大学名誉教授・経済学博士 白石孝氏
演 題 三都の商い文化今昔
東京の暮らしの中のどこかに息づく江戸気質や商い文化の歴史をたどり、
江戸・京都・大阪の三都について商いの気風の違い、消費者気質今昔を語る

○ 春 季 代 議 員 会

3 月 1 3 日 (火) 1 7 : 3 0 ~ 1 8 : 3 0 国際会議場 井深大記念ホール
出席者 岡田、小野、當間、井垣、小亀
代議員会に先立ち、幹事長・事務局長会議が行われ小亀事務局長が出席
代議員会では①校友会の2006年の活動報告並びに2006年度決算見込
②2007年度の活動計画並びに2007年度の予算が協議され
承認された

○ 2 0 0 7 稲 門 祭 & HOME COMING DAY は 1 0 月 2 0 日 ~ 2 1 日 に 行 わ れ る こ と にな っ た。

今年のキャッチコピーは “拓け！ワセダの新世紀”

1 0 月 2 0 日 (土) :

● ホームカミングデー式典 ● 卒業年次別の会 ● 稲門祭アトラクション

1 0 月 2 1 日 (日) :

● 創立125周年記念式典 ● 稲門祭アトラクション

125募金は約140億円の申し込みを頂いている。皆様の一層のご協力をお願い致します。

○ 他 稲 門 会 へ の 出 席

東久留米稲門会 4 月 8 日 (日) 三宅会長 風間副会長出席

○ 5 月 度 お 誕 生 会 (担 当 芦 田)

日 時 5 月 1 2 日 (土) 1 7 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0
場 所 割烹 丸藤 (久米川駅南口 徒歩1分)

* 5 月 度 お 誕 生 の 方 々 (敬 称 略) 1 7 名

赤荻洋一・上原正行・尾上友男・相馬信一・高杉 修・高柳武司・滝川桜子・多田 実
西村守正・野口順正・比留間光信・松澤 徹・宮入秀光・森川 進・森本 吏・守屋幸一郎
吉田 勝

○ 3 月 度 に 稲 門 会 会 費 を 納 入 い た だ き ま し た 会 員 は 以 下 の 方 々 で す (敬 称 略)

石川 武、岩城哲夫、金城寛文、藤田哲夫、益田 昂、山路和男
3 月 度 で 会 員 全 員 が 納 入 い た だ き ま し た 。 な お 3 月 2 2 日 付 け で 創 立 1 2 5 周 年 記 念 事 業
募金に一人当たり1,500円を会員芳名を添えて大学校友会に寄付いたしました。
7 年 間 に わ た る 募 金 活 動 へ の ご 協 力 に 感 謝 申 し 上 げ ま す 。 会 計 幹 事 岡 田 一 郎

第50回雑学講座報告

「エルサレムが語る神の歴史」

平成19年3月3日(土)

ふるさと歴史館視聴覚室

講師 中島 公子 元明治大学教授

昭和35年 早稲田大学大学院博士課程終了



講演に先立って、『聖都エルサレム』と題するビデオを30分ほど鑑賞した。これは、イスラエルがこの国の総力を結集して1980年代に制作した「エルサレム案内」の日本語版である。古い城壁に囲まれたエルサレムの旧市街を、「聖地」としての角度から、克明に迫ったものである。金色に輝くイスラムのモスク「岩のドーム」は旧約聖書の太祖アブラハムの故事があったとされる、まさにその場所に建っている。「嘆きの壁」はユダヤ人がエルサレムを追われた2000年以前からこのかた、

朝ごと夜露に濡れて、民族の嘆きを語っている。キリストが十字架を担って刑場に赴いた石畳の坂道「ヴィア・ドロロサ」には、キリストが足を止めた14の「止まり場」が刻まれ、その足跡を生々しく感じさせる。おそらく、他のどんな都市にもないであろう独特の雰囲気

の漂う町である。この独特の雰囲気は、『聖書』に記された「唯一の神」が、とくにこのエルサレムを選んで、人との「出会い」の場としたことから生まれている。ここを共通に「神の都」とするユダヤ教、キリスト教、イスラム教は、『聖書』から生まれた同根の兄弟宗教なのだ。

講演では、まずこの「セム系一神教」相互の関係から説き起こし、どのようにして「エルサレム」が三者それぞれの聖都となったかを歴史的に概観するものであった。アブラハムが神に命じられてわが子イサクを犠牲にしようとし、同じ神がそれを止めたモリヤの山での出来事があったのは今から4000年前のこと。いったんエジプトで奴隷となったその子孫は、モーゼ（イスラエル民族統一者）に導かれて、再び「乳と蜜の流れるカナン」の地を目指す。ダビデ（イスラエル王国第二代目の王）がここエルサレムを統一イスラエル王国の都と定め、その子ソロモンがここに壮麗な神殿を築いたのは3000年前。やがて時代は下ってローマ帝国の発足後間もなく、イエス・キリストが生まれ、死と復活を迎えるのが2000年前である。さらに西暦7世紀のある夜、イスラム教の開祖であり、アブラハムの庶子イシュマエルの子孫を自認するムハンマド（マホメット）は天馬に乗って七つの天界を巡る旅に出た。その起点となったのが、これまたエルサレム、モリヤの山であった。

実にエルサレムは、人類4000年の歴史の凝縮された場所であり、今もそこで、世界を揺るがす出来事が日々展開されているのである。



注記：上記のまとめは、編集部の要請により、講師の中島先生自らまとめてくださったものである。心より感謝申し上げたい。

今回の講演は、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教は同根の兄弟宗教であり、イスラエルを共通の聖都としているということで、実に興味深いものであった。

それにしても、この地では、どこよりも神を信じ、慈しみあっているはずなのに、反面、反目しあい、深刻な争いも展開している。これは人間の業なのであろうか……。 (編集部／高鷲)

同好会だより

テニス同好会

世話人 當間 昭 治 TEL 391-6023



3月の例会は17日（土）久米川コートで実施。参加者は井手、田島、當間に當間の叔父が加わり4名。人数が少なかった分たっぷり練習ができました。スクールで腕を上げている田島さんは、何度もサービスエースを決めていました。

4月と5月は下記の予定、初心者歓迎します。

記

日時	4月14日（土）	午前9時～午前11時
	5月20日（日）	午前11時～午後1時
場所	両日とも久米川コート3	

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



3月例会は3月3日開催しました。

大病を克服半年振りの佐野さんが元気に参加され皆の祝福を受けました。

参加者は芦田、井原、井垣、岡田、高鷲、高部、滝川夫妻、高橋、當間、夏山、内藤の各氏に初参加の窪田氏14名の賑わいで雛祭りの一夜を楽しく過ごしました。

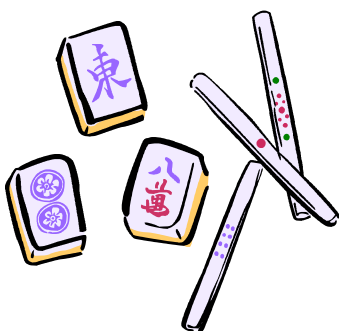
参加者が多数の為沢山の曲を歌えませんでした、各自の持ち味を楽しく鑑賞出来大いに盛り上がりしました。

今後の予定

4月 7日（土）	カラオケランドズー	19:20
5月12日（土）	カラオケランドズー	19:20

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常 尚 332-5621



第38回大会を去る3月11日（日）マージャンMにて3卓12名の雀戦を繰り広げました。最終4回目の勝ち抜き戦は、同好会長老連（久世、番場、江藤の各氏）と若き1人の壮絶な戦いとなりました。終了アラームの音も聞こえないのか、意に介せずか、延々20分超過の熱戦の末、大方の予想が外れて、見事最長老の久世大先輩が2度目の栄冠を勝ちとりまして、更に優勝の挨拶の弁で、次回も連勝優勝を狙うとの（〇〇〇蛇に怖じず・・・失礼？）力強い声明が発せられました。

以下準優勝番場、芦田、鈴木、當間、長井の各氏が賞金を獲得し、尚番外者は江藤、三宅、松永、佐野、中川、朝木の各氏でした。三宅会長から寄贈の酒も加えて、更に1人平均3本のアルコールを鯨飲して散会しました。

長老連の矍鑠とした勇姿が印象的な大会でした。

次回は6月17日（日）に予定しています。

（松永記）

俳句同好会 (稲酔会)

世話人

高杉修

TEL

391-8447

井垣和太

04-2924-2934



第31回「稲酔会」句会を、下記の要領で開催いたします。
記

開催月日 平成19年4月28日(土)
時 間 午後1時から(投句締切時間も同じ)
場 所 ふるさと歴史館研修室
投 句 兼題一句以上含め五句(欠席投句は前日まで)
兼 題 「春 眠」

句会終了後「丸藤」(久米川駅前)で懇親会をおこないます。

「春 眠」(春睡、春の眠り、春眠し)

唐の孟浩然の詩に「春眠暁を覚えず、处处啼鳥を聞く」はあまりにも有名。目が覚めたあともなかなか起き出せず、ついうとうと快い眠りをむさぼり、寝過ごしてしまう季節です。

春眠は夜の眠りに限ったことではなく、昼や夕刻のうたたねにも当てはまります。

金の輪の春の眠りにはまりけり 高浜虚子
春眠をむさぼりて悔なかりけり 久保田万太郎
春眠しかはたれどきの鳥のこゑ 伊東月草

(稲雀記)

ゴルフ同好会

世話人

堀田秀夫

090-8339-7179

@ 今年度第一回(第21回)会長杯ゴルフコンペのお知らせ

今年度第一回の大会を狭山カントリー倶楽部で行います。参加される方は、ニュースが届き次第堀田までお知らせください。

堀田 090-8339-7179

4月17日(火)

狭山カントリー倶楽部 入間市大字下谷ヶ貫492 tel 042-936-1321

9:00から5組

料金(昼食費別)

70歳以上 14,000円 (運転免許証など年齢を証明する書類が必要です)

65歳以上 16,000円 (同上)

その他の方 21,450円

参加費・パーティ費・その他 約4,000円

組合せ、集合時間など詳細は、後ほどはがきでお知らせいたします。

@ 第二回会長杯ゴルフコンペは9月9日(日)西武園ゴルフで行います。



園芸の会

世話人

當摩照夫・彰子

TEL

396-3033



前号でご案内の通り、以下の日程でさくら草の鑑賞会を行います。
なお、都合により会場が変更になっておりますので、ご注意ください。

日時 平成19年4月12日(木) 午後2時~4時 会費 500円
場所 當摩照夫・彰子宅 東村山市多摩湖町2-14-3

5月は11日(金)午後3時よりスポーツセンターで、恒例の春苗の交換会を行います。皆様、ふるってご参加ください。

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708



渡来人の文化を伝える高麗神社へのウォーキングの会を3月24日(土)、11人の参加を得て行いました。薄曇りの中、高麗駅を発ち縄文中期の竪穴住居へ。数千年前には我々の祖先はこんな狭い土の上で生活していたのかと感慨深し。・・・高麗川沿いをゆっくり歩き高麗家の大きな立派な聖天院へ。・・・歩きだして約1時間半して高麗神社・高麗家住宅へ。約1300年も前に朝鮮半島の高句麗から移住してきたとか。先住民との融和に苦労されたろう。高さ20m

あろう素晴らしいしだれ桜が満開、見ほれた。昼食後出来るだけ田舎道を通り、可憐な水菜、小松菜の花を見ながら巾着田へ。巾着田は桜の花芽は膨らんでいたがもう少し、広々とした菜の花畑を後にして、全員無事に高麗駅へ。15:24発で所沢に向かう。

私見ですが・・・この頃の私の血圧は150-85位でしたが帰って測定したところ130-70位でした。血圧の高い人にはウォーキングは良薬のようです。

次回は5月26日(土)の予定です。行き先は追って5月のニュースでお知らせします。

参加者：芦田、市川久美子、井手、土橋、高橋正夫と(娘、孫娘)、當間昭治夫妻、三宅夫妻
(土橋記)



3月度「お誕生会」報告

担当幹事 芦田 均 393-7525

3月3日(土)17時少々過ぎに、久米川駅に程近い「丸藤」で、3月のお誕生者9名をはじめとした、今までにない26名にて行われた。

3月は「生命が萌え出ずるめでたい月」として会長からの祝辞について、風間副会長からの開会の辞、小亀事務局長の乾杯の音頭と滞りなく続いた。朝木様から「定年後に鍼灸の勉強をされ、現在もその仕事をされ」、井垣様は「足の怪我を契機にこれからの人生を考えたい」とユーモアたっぷりに。鈴木様、益田様は戦時中に過ごされた時の話など。田代様は優勝を含めた囲碁談や、お作りになっている供養墓などについて、また、豊田様は、ご出身地のお言葉で、戦争時代の体験談と「予科練の歌」を披露していただいた。稲門会入会して間もない窪田様はユニカルをなさり、37年間の会社生活一途の「会社人間」から今後は地域との親交を広めて行きたい、と。作家の山崎様は稲門会発足時からご存知でしたが、今回初めて行事に参加された由。4月に大隈重信を題材とした「青春時代」という小説を上梓予定との事。山室様からはご自身の名前の由来、千葉へ疎開されたお話しやゴルフだけでなくほかの同好会にも積極的な参加の、また、早稲田大学を定年退職された井原様から稲門会への積極的な参加のご意志を表明された。

その間、記念品の贈呈や「HAPPY BIRTHDAY TO YOU」と盛り上がりを見せ、當間昭治副会長の閉会の辞、井垣様のリードで校歌斉唱と、名残を惜しむ中、終焉となった。

広島から

小野 浩一（S62商）

生まれて就職するまで東村山在住。その後大田区・船橋市・所沢市と関東地区を転々とした後、2000年に東村山に戻りましたが、昨年4月に広島に転勤となりました。東村山在住ではなくなりましたが継続入会させて頂いております。関東以外の場所に居を構えるのは初めてであり家族ともども当初は戸惑いの連続でしたが、現在では小生以外の家族のほうがこの地に慣れているようです。

広島というと連想するのは、原爆ドーム・宮島・牡蠣あたりだと思います。原爆についてはこの広島でも歴史認識が風化しており、小学校等でも投下日の8月6日やその前後に学校行事を開催するところがありました。宮島も原爆ドームと同様に世界文化遺産である厳島神社があり、海中に浮かぶ鳥居は歴史を感じさせ荘厳です。牡蠣については昨年からのノロウィルスの風評被害（結局、牡蠣が原因の被害は無かったと思います）で牡蠣業界も打撃を受けました。仕事上、加工業者様と話す機会もあり苦労話を聞かされました。

広島に住んで自然に親しむ機会も増えましたが、一番変化したのは通勤です。東村山では1時間半だった通勤時間がここでは半分になりました（それでも広島では多いほうと言われています）。天気の良い日は気分転換にと自転車通勤もしています。

東村山を離れ思うことは今さらではありますが、稲門会を含め地元の方々との交流をもっと深めておけばよかったという点です。その反省も含め、広島にいる間は広島の方々と酔心（広島の地酒名から引用しました）し、仕事以外でも多くの友人を作りたいと思っています。今後東村山に戻った際は皆様との親交を深め、趣味でもある野球・ラグビー等のスポーツ観戦を大いに楽しみ、早稲田スポーツの話題で皆様と一喜一憂できればと願っております。今後の東村山稲門会の盛会を祈念しております。

俳 壇

大野 恵峰
カーテンを閉め忘れゐて春の月
てのひらにたしかな重き落椿

菊田 一平

あぶりだし文字の出てきてあたたかし
息を吹きかけて接木の枝を接ぐ

高杉 風至

のどけしや能筆の文よみにくく
野火止塚駒止塚と青き踏む

高部 糸行

花菜畑帰る子の歌わたりくる
子が大き伸びをしてをり春障子

内藤 慎

春風と野菜背負ひて老婆来る
洗ひ場に賑やかな声水温む

丸本 北窓

詰め将棋解けぬしじまや水温む
木の芽和しまひし酒をまた出しぬ

八木 竜湖

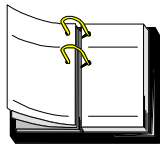
啓蟄の田にしづしづと農夫出づ
春めける音や米とぐ厨妻

芦田火吐四

春眠し遠のいてゆく妻の声
春眠や昼餉の後のベンチにて

井垣 稻雀

薄氷の解けて細流^{せせりぎ}音たてり
沈丁に足止められて小半時



今月の予定（4月）

1日（日）お花見会
7日（土）4月度役員会
お誕生会
カラオケ同好会

12日（木）園芸の会
14日（土）囲碁同好会
テニス同好会
28日（日）俳句同好会

5月上旬の予定

11日（金）園芸の会
12日（土）5月度役員会
お誕生会
雑学講座
カラオケ同好会
17日（木）～18日（金）旅行同好会



編集局だより

編集局：中村

○前回河津桜のことを書きましたが、河津の桜まつりとほぼ同時期、稲取では“雛のつるし飾りまつり”が行われています。早春の伊豆ツアーもほとんどこの二つがセットになっており、町の至る所につるし雛が飾られています。友人も作っているので、幾つか教えてもらいました。これなら大丈夫と作り方を覚えたのは悲しいことに一番簡単な“桃”だけ。その稲取で今年から福まつりといって、端午の節句にあわせて兜とか鯉のつるし飾りをするようです。かぶと...。今年作るのは無理そうでもあり、またあまり難しいのも手に負えません。ほかに何かないだろうか？あったのです「折り紙」。新聞に載っていた「年齢、性別に関係なく、紙さえあれば誰でもできるのが折り紙の魅力」と言う館長の言葉に興味を持ち、おりがみ会館の見学もかねて教室に申し込んでみました。折り紙でちょっと凝った兜とその台を作ってみます。

○次号の原稿締め切りは4月30日です。よろしくお願いいたします。

東村山稲門会ニュースの配布先について

当ニュースは会員の皆様の他下記箇所にお送りしています（役員・幹事会承認）
早稲田大学校友会・および次の各稲門会 清瀬・東久留米・小平・西東京・立川
小金井・国分寺・三鷹・武蔵野・狛江・府中・予備9部 計230部

お知り合いの方で稲門会未加入の校友にはぜひ入会をお勧めください。

第106回オペラ鑑賞会のお知らせ —清瀬稲門会—

期日：5月13日（日）午後1時30分～6時 （入場無料）

会場：アミューホール

清瀬駅前北口広場・生涯学習センター7階（1階りそな銀行）

曲目：ロッシーニ 歌劇 「ウィリアム・テル」